

2024-25年度

ステファニー・アーチックRI会長テーマ

The Magic of Rotary



国際ロータリー第2520地区

仙台泉ロータリークラブ

藤岡 邦彦会長テーマ

「ロータリーの未来に挑戦しよう」

Rotary

Club of Sendai Izumi



2025.4.17 第2581回 仙台泉ロータリークラブ例会 SAA 村上 会員

【ゲスト】

2013-2015米山記念奨学生 ト 英悦 様 (ボク エイエツ)
ボクエイエツ様令夫人 奚 凤娟様 (ケイ ホウエン)
" ご子息 ト 易恒くん (ボク イコウ)

ケイ令夫人お父様 吳 良様 (ゴ リョウ)
ケイ令夫人お母様 吴 艶静様 (ゴ エンセイ)

【会務報告】野村 幹事

ボク エイエツ様より 趙興業、中国書画家協会理事の書いた 掛け軸とお土産を頂きました

ガバナー事務所様より
・地区大会 シャトルバス変更のご案内
・地区大会 本会議 席次表

ガバナーエレクト事務所様より 地区研修協議会 (DTAアジェンダ)

ロータリー米山記念奨学会様より 寄付金納入明細書

仙台泉RAC大宮様より 第49回年次大会のご案内 5/31 (土) 受付12時～
場所：東北大学川内キャンパス 懇親会は「TKPガーデンシティ仙台駅北会議室」

【卓話】

善 縁

2013-2015米山記念奨学生 ト 英悦さん
ホームカミング制度を利用し上海よりご家族と5名で来仙



2013年から2015年までの米山奨学生で、エイエツと申します。時が経って、今では10年もの歳月が流れました。その間、様々なご縁が私の人生を彩ってくれました。今日は、そうした縁とつながりについてお話ししたいと思います。

今回、『善縁』をテーマに選んだのは、主に2つの理由があります。一つ目は、私自身が人生の中でたくさんの素敵なお縁を得たことがきっかけです。もう一つは、現代社会における『善縁』の重要性について、深く考えさせられたからです。

SNSの時代になって、私たちは簡単にたくさんの人とつながれるようになりました。しかし、その反面浅い関係も増えていました。そこで『善縁』という考え方が重要になってきます。これは、私たちに『質の高い関係を大切にしよう』と教えてくれます。家族や友人仕事の仲間、そしてロータリークラブとの関係など、人生のあらゆる場面で『善縁』を育てることで、私たちの人生はもっと豊かになるはずです。

まずは自己紹介をさせていただきます。その後、私の仕事である薬関係、特に抗体薬などについて少しお話ししたいと思います。

私は大学時代から医薬品関係の研究に没頭してきました。社会人になっても、薬に関する仕事を続けています。高齢化が進む現代社会において、薬は人々の健康や命を支える非常に重要な存在です。良い薬が患者さんたちの生活を豊かにし、命を救うという関係性はまさに善縁の典型的な例と言えます。

なお、2013年から2015年の米山奨学生として仙台泉ロータリークラブの皆様には多大なご支援とお世話をいただきました。心から感謝申し上げます。

私が勤めている会社について、少し紹介させていただきます。本社は上海にあり、主に抗体薬などのバイオ医薬品の前臨床研究開発 (R&D) から商業化生産までをサポートしており、製薬企業やバイオテクノロジー企業に包括的なソリューションを提供しています。主な事業領域：バイオ医薬品の開発と工場製造

グローバル展開：中国（上海など）を中心に、アメリカ、ヨーロッパ、シンガポールなどにも拠点を開設しています。世界トップクラスの培養用タンク施設を保有し、大規模な生産能力を備えています。



規制対応：FDA（米国）、EMA（欧州）、PMDA（日本）などの承認実績があり、厳しい規制に対応できる体制を整えています。このように、当社はバイオ医薬品産業における重要なパートナーとして、創薬の加速化とグローバルな医療アクセスの改善に貢献しています。

当社は生物製剤の CDMO 企業です。

まず、中国の抗体薬などの世界市場シェアと市場規模について説明します。中国の抗体薬など市場は世界全体の約 18~20%を占めており、米国に次ぐ第 2 位の規模と推定されています（2023 年比で約 2 ポイント増加）。

成長要因としては、以下のような点が挙げられます。

- i. 中国国内製薬企業の抗体薬・CAR-T 療法のグローバル展開
- ii. ワクチンの新興国向け供給
- iii. バイオシミラー（後発の薬）関連会社の欧米市場進出

次に、抗体薬の CDMO 市場についてです。2023 年には約 180 億 US ドルと記録され、2036 年までには市場収益が約 390 億米ドルに達すると予測されています。予測期間中には最大 12% で成長する勢いがあります。

幼い頃から、薬に関する仕事を通じて人々を助けたいと思っていました。卒業してから現在まで 10 年が経ちました。私は米山奨学生としてたくさんの貴重な体験をすることができました。そしてその願いを今も続いていると感じています。

ロータリークラブの皆様との関わりは、私にとって社会貢献の重要性を改めて実感する機会となりました。地域社会への奉仕活動に参加することで、自分が学んだことを社会に還元する意義を強く感じました。米山奨学会は、単なる経済的支援だけでなく、人間として成長するための貴重な機会を提供してくださいました。

米山奨学会が 提供する様々な活動やイベントに参加することで、多くの仲間と出会い、刺激を受けました。特に、地元の人々、子供、ロータリーアンとの交流は、私の視野を広げる、大きなきっかけとなりました。彼らとの交流を通じて、自分自身の考えを深めることができました。

また、「文化の縁」についてです。ロータリークラブではこのような文化の交流が非常に頻繁に行われています。

抗体の原薬製造工程についてを少し紹介します。まず、種細胞培養から始まり、次に生産培養を行います。その後、細胞分離、精製などの製造工程を経て得られた原薬をさらに濃縮・分注することで、原薬を製造することができます。通常、遠心機を利用して遠心分離による細胞除去工程を行います。その後得られた上清には抗体薬が含まれています。得られた上清をさらに分離・精製することで、より高い純度（98%以上）を達成することができます。原薬の分離・精製には一般的に、その条件を検討する必要があり、精製プロセスの開発が必要となります。

開発したプロセスは、研究室から工場規模に拡大（Process Scale - Up）、技術を生産工場に移転（Technology Transfer）、薬の商業化製造（Commercial Manufacturing）などに利用されます。そして、このプロセスの安定性は製薬業界において非常に重要視されています。安定性は薬品の品質に直結しています。私たちは使命として、より安定した分離プロセスを提供し、より高品質な薬を患者さんに届けるために努力しています。

もう一つ、分離に関連する重要な点ですが、抗体薬の製造プロセスにおいては、原薬や培養プロセスにおけるウイルス汚染リスクを排除することは、薬の管理機関 FDA などの規制では極めて重要です。そのため、モデルウイルスを用いた除去が必須となります。また原材料の管理、工程管理、最終製品検査なども重要です。そして、得られた純品は機器により濃縮され、最後にロボットを用いて分注され、臨床用の薬剤となります。以上が、お薬の製造工程に関する説明です。



ご家族の皆様と当時のカウウンセラー菅原貴治さんとの会食



ご家族と共に、新幹線で水沢江刺駅へ

国を超えた相互サポートにつきまして

2019 年のコロナ大流行の際、上海ではマスクが、入手困難、になりましたが、仙台泉ロータリークラブの皆様から日本よりマスクを送っていただきました。2020 年 2 月、日本でもマスクが不足していると聞き、少しでもお役に立てればと思い私も日本へマスクを送りました。当時、中国でもインターネット上でマスクが入手困難になり、上海から海外への大量輸送もできなくなりました。しかし、なんとか計 2500 枚を集め、蘇州を経由して東京海洋大的研究室、仙台泉ロータリークラブと蔵王でお世話になったお母さんにマスクを送ることができました。

家族や皆様との絆につきまして

2019 年 10 月、上海での私の結婚式に、菅原パストガバナーと時パスト会長、事務局さんが、夜 7 時半の例会終了後に、羽田空港から深夜便でわざわざ上海までお越しいただきました。印象的なことは、21 時に披露宴が終了した後、空港へ向かい、また深夜 1 時の便で帰国されたことです。一泊三日のスケジュール本当に大変お疲れ様でした。また、皆様が帰国後、事務局さんの皆様からのご厚意により、立派なポストカードを作っていただきました。心より感謝申し上げます。このようなご縁は一生忘れません。今回は 4 歳の息子も連れてきました。これを通じて、善縁の意味を息子にも直接教えたいと思います。

今後の展望につきまして

前向きで楽観的な心構えを維持することは、感謝の心を忘れず、

あらゆる出会いと協働の機会を大切にすることです。

他者を助け、社会に貢献する実践的な行動を続けることで、より多くのポジティブなエネルギーが循環します。また、自己研鑽に励み、新たな知識やスキルを習得するこは、

自身の成長だけでなく、他者を支える際の自信にもつながります。
ご静聴有難うございました。



4/20(日)地区大会の本会議でスピーチ
奥州市文化会館 Zホール



4/21(月)トさんご家族と共に歓迎夕食会 リアフィール
トさんからいただいた「善縁」と書かれた掛け軸を背に記念撮影

トさんが、中国書画家協会理事の趙興業 氏に注文し書いていただいた 特別な掛け軸をクラブに寄贈していただきました。この掛け軸には、今回の地区大会でのスピーチのテーマ「善縁」と大きくかかれ、以下の文章が書かれております。

**発上等願、結中等縁、享下等福
選高処立、就平地座、向寛処行。**

意味：大きな抱負を胸に、人生の巡り会いに順応し、平凡な生活を楽しむ

問題を見る際には高瞻遠矚で、仕事をする際には着実に、生活を送る際には心が穏やかであることを言っています。



趙興業 氏

【米山記念奨学会寄付】 6名より6,000円

【ニコニコBOX】

藤岡邦彦会長 トさんお帰りなさい。ご家族の皆様こんにちは 卓話を有難うございます

高橋 渉会員 トさん 一家 ようこそいらっしゃいました。く治してネ

以下同意文にて 市川・梅津・奥村・小山・鎌田（満）・蹴揚・小早川・高橋・高松・中嶋・野村・前田・村上・
本木・鷲尾（光）各会員 今回19,000円 今年度累計 1,149,000円